

平成20年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		社団法人武蔵野市シルバー人材センター						
①	指標名	公共民間受託契約金額			目標値	457,500千円	実績値	433,206千円
	過去の実績	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達成率	94.7%	達成状況	未実施・ 未達成 ・達成
	(単位: 千円)	435,090	415,933	421,404				
	取組内容	<p>※20年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>センターの普及啓発及び就業開拓事業として、チラシの全戸配布やポスター掲示、コミセン夏祭りや文化祭への協力、青空市、シルバースポーツ大会、市内一斉清掃等に参加し、センターのPR活動を実施した。また家具転倒防止金具の無料点検の実施やセンターフェアを開催し、会員相互及び市民との交流を図った。事業部会と職員により、既存発注者である事業所訪問を行い就業開拓に努めた。</p> <p>上部団体の研修会参加及び近隣シルバーと研修講習会を開催した。就業の提供方法として全会員に毎月2回ニュースを配布し広く募集を行い受注拡大に努めた。仕事別グループの充実とリーダー育成には及ばなかった。</p>						
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>実績の内訳は、公共194,320千円（前年度193,752千円）、民間238,886千円（前年度227,653千円）となり、公共は微増、民間に関しては前年実績より4.9%増加することができたが目標達成には至らなかった。</p> <p>上記の取組みに対して、PR方法と費用対効果の検証。就業ニュース公募に対する会員希望職種の不マッチ等が今後の検討課題である。</p> <p>仕事別グループの充実とリーダー育成は、組織問題検討委員会で継続的に検討を行なう。</p>						
二次評価	<p>公共からの受託率は微増であるものの、民間受託率は平成19年度の5%増に引き続いて平成20年度も4.9%増と確実に受託先の開拓が進んでいる。ここ数年、低下傾向にあった正味財産比率には、一定の歯止めはかかったものの（平成20年度比率は19年度と同率の43.8%）、今後も財務状況を改善するよう、民間からの仕事の受注開拓をはじめ更なる経営改善努力を期待する。</p>							
②	指標名	損益計算書 事業収入 自主事業収入 収益事業			目標値	234,480千円	実績値	238,877千円
	過去の実績	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達成率	101.9%	達成状況	未実施・未達成・ 達成
	(単位: 千円)	207,131	216,789	227,653				
	取組内容	<p>※20年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>事業実績の拡大につながる会員増加のために、PR活動の実施や増強月間を設定し会員獲得に努めた。</p> <p>この数年増加傾向にある、高齢者家事援助及び育児支援、広報紙の配付、植木剪定、除草・掃除、駐車場管理、アパート・小規模マンション等の清掃、簡易な修理、家具の移動等の受注拡大に対応するため、会員への情報提供活動を行なった。</p> <p>独自事業の補習教室では、市民等の要望と消防団の協力により、吉祥寺南町に新たな教室を開設した。</p>						
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>前述のとおり家庭と企業からの受注が伸び、目標の達成に至った。</p> <p>事業実績が増加することにより事務費収入も上がり、支出では管理費の減額に努め、収支をプラスとすることができた。</p> <p>会員不足により受注に至らなかったものもあり、会員数の拡大は今後も努力が必要である。</p>						
二次評価	<p>新たな教室を開設できたこと、および前年度（2%増）に引き続いて目標を達成できたことは評価する。受注にいたらなかった業務については、単に会員数の問題であるのか、業務内容に起因するものであるのか、又は会員の希望業種と利用者の受託業務のアンマッチの問題であるのかなど、課題と対策を早急に検討し、今後もより一層のPR活動や就業開拓に努め、会員の拡大を行っていく必要がある。</p>							
③	指標名	事務局業務への会員の活用			目標値	5,100時間	実績値	5,035時間
	過去の実績	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達成率	98.7%	達成状況	未実施・ 未達成 ・達成
	(単位: 時間)	4,381	6,004	4,966				
	取組内容	<p>※20年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>市職員の異動に伴い、前年以上に会員を臨時職員として雇入れ人件費の抑制に努めた。</p> <p>民間派遣社員の契約更新を行わず、嘱託職員に切り替え人件費の抑制に努めた。</p>						
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>財政状態の健全化のために人件費や派遣社員の委託費等の削減を目的に、会員の労働能力活用を目的として取り組んでおり、今後も会員の働く場の提供とセンター活性化につながるものとして進めていく。</p> <p>課題としては財源及び事務の効率化を図る一方、同じ会員を雇用すると公平性に欠けるため、広く多くの会員雇用を進めていく。</p>						
二次評価	<p>会員による事務局業務実施の取り組みについては、業務への熟練度の上昇に伴い、より効果的・効率的に執行できるようになったため、昨年実績に比べて実働時間の大幅な増加には結びつかなかった。</p> <p>今後は、会員に配分する仕事を増やすという観点から、外部からの受注開拓を一層進めると同時に、事務局業務の中でも会員に任せられる業務を更に検討し、会員の一層の活用に努めること。</p>							